

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012 年 7 月 1 日

派遣者氏名（専門分野）	波江 彰彦（人文地理学）
-------------	--------------

派遣期間	2012 年 1 月 31 日 ～ 2012 年 3 月 30 日
------	-----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
台湾	台北	中央研究院人文社會科學聯合圖書館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

場所

中央研究院の敷地内の最も奥（西側）にある。中央研究院へのアクセスは、MRT の南港駅または南港展覽館駅からバスに乗り換え「中研院」で下車。あるいは、台湾大学－中央研究院間を運行している無料の連絡バスを利用するという手もある。

入館

入口に入って右手にロッカーがあり、パソコンや筆記用具以外の荷物を保管してから館内へ。入館に際して、パスポート提示や入館証などは不要。

館内スペース

とてもゆとりのある空間であり、資料閲覧用（あるいは自習用）の立派なデスクやソファなども充実していて、なおかつ、利用者は多くないため、集中して調査・研究に取り組むことができる環境である。カウンター（2階）の背後に「數位典藏計畫展示區」という大きな展示スペースがあるのが特徴的である。2階はほぼ開架であり、1階にはいくつかの専門室がある。私は受入研究者とともに「地理資訊典藏室」に入室したので、その際は入口付近にある用紙に名前をサインするだけで良かった。しかし、貴重な地図類が保管されているので、一般利用者はカウンターで諸手続を行い、図書館スタッフの指示に従って利用することになると思われる。

コピー

1階・2階ともにコピー機（影印室）がある。利用前に、コピーカードをカウンターで購入する必要がある。1枚100円で、100枚コピー可能。また、このコピーカードは中央研究院の他の図書館でも利用可能。

パソコン・インターネット利用

自分のパソコンでインターネット利用ができる。フリーアクセスのWiFiが利用可能（SSIDは失念したが、すぐわかります）。館内デスクでは電源をとれるので、バッテリー消耗の心配をする必要がなく、インターネット検索やオンラインデータベースを活用しながらじっくりと調査を行うことができる。